

2019年10月4日
東葉高速鉄道株式会社

2019年度異常時総合訓練の実施について

東葉高速鉄道株式会社（本社：千葉県八千代市、社長：飯田浩子）では、2019年9月27日（金）に、車両基地において、「異常時総合訓練」を実施しました。

この訓練は、重大事故が発生した時の併発事故の防止や、負傷者の救出・救護、お客さまの避難誘導、事故復旧体制の確立といった異常時における知識・技能の向上を目的に、毎年実施しているものです。

昨年度に引き続き、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたテロ対策訓練を実施いたしました。当日は、千葉県警察及び八千代市消防本部の協力を得て、総勢約110名が参加した訓練となりました。

今後もあらゆる不測の事態に備え、社員一人ひとりのさらなる知識・技能の向上を図るとともに、安全意識の高揚に取り組んでまいります。

1 実施日

2019年9月27日（金）

2 訓練会場

東葉高速鉄道 車両基地

3 訓練内容

八千代緑が丘駅に到着する列車内にて、爆発物によるテロ行為が発生し、多数の負傷者が発生したとの想定で、社員によるお客さまの避難誘導及び警察及び消防による救急・救護活動を実施。

4 訓練参加機関

- (1) 千葉県警察
- (2) 八千代市消防本部
- (3) 東葉高速鉄道株式会社

以 上



【現地対策本部の様子】



【非常用梯子設置の様子】



【危険物搜索の様子】



【負傷者救護の様子】